

研 修 部 活 動 計 画

1 活動の重点

新学習指導要領等への対応を喫緊の課題ととらえ、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究集会を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の3委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

2 活動の概要

(1) 校長会研究集会

ア 大会主題と設定の趣旨

【設定の背景】

大会主題については、基本的には全国連合小学校長会の研究主題を受けて、当県における学校教育の課題を踏まえて設定してきている。

【全連小の動向】

- ① 現在の研究主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」は平成31年度まで継続する。
- ② 新学習指導要領が平成32年度から全面実施となることに合わせて、平成29年度末に新たな研究主題を設定する予定。

【本県大会主題の変遷】

[平成16度～平成18年度] (3年間)

新しい時代に生きる確かな学力を身に付け、豊かな心と確かな身体をもつ子供を育てる学校経営

[平成19年度～平成24年度] (6年間)

新しい時代を拓く確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる子供を育てる学校経営
※中途から「子ども」表記に

[平成25年度～平成28年度] (4年間)

未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営

【平成29年度以降の大会主題について】

- ① 全連小の研究主題が現行のものを継続する方向にあることから、基本的な枠組みの変更は要しないであろう。
- ② 新学習指導要領等の改善についての中教審答申が出され、学習指導要領が告示される情勢の中で、新潟県小学校長会として喫緊に取り組むべき事項を明らかにして、大会主題を設定する必要がある。

【研修部からの提案】

- ① 平成29～30年度は、新学習指導要領告示後、全面実施（平成32年度）に向けての先行実施期間となる。いずれの学校においても「社会に開かれた教育課程」を適切に編成することが最重要課題となる。
- ② よって、「新学習指導要領に即応した研修」に校長自らが取り組み、全ての学校において万全の準備ができるような研修内容にしてはどうか。
 - ・平成30年度から全面実施を迎える「特別の教科 道徳」への対応（平成29年度研修）
 - ・英語教育の改善（中学年における外国語活動、高学年における教科化）への対応

- ・各校における「社会に開かれた教育課程」の全体像案（グランドデザインや各校の教育ビジョン等）を基にした研修

【大会主題案】〔平成29年度～平成31年度〕 ※副題を付ける

未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営
—新学習指導要領への対応を中心に—

- ③ 新しい大会主題については、平成30年度末までに設定し、平成31年度は実践の予備期間とする。平成28年度のような全連小の主題を受けた研修スタイルは平成32年度からとする。

イ 基本方針

- ① 道徳の教科化に向けた各自の実践を持ち寄り、討議し合う。その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容となるようにする。
- ② 分科会は、必要に応じて分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。
- ③ 平成29年度以降も、「地区—全県—地区」のサイクルを踏襲する。平成29年度は地区研究集会とする。

※ 研修会の日程（案）

開会式 → 全体研修会 → 分科会（レポートを基に）
30分程度 70分程度

- ・全体研修会については、行政説明、又は先行実践校からの発表等が考えられる。

ウ 分科会構成

- 全員が「道徳の教科化に向けた校長の取組」（仮題）A4用紙1枚にまとめ持参する。
※執筆の観点
 - ・教科道徳で目指す授業像を明確にする取組
 - ・評価に関する自校の体制確立に向けた取組
 - ・全体計画や年間指導計画等の作成に向けた取組
 - ・その他自校の特色ある取組等
- 各地区の状況を踏まえ、適宜分科会を設定する。各分科会では、参加者の発表を受けて、話し合いの柱を決定し情報交換や協議を進めるなど、運営を工夫する。

エ 期日・会場

- 地区別研究集会

上越地区	上越大会	平成29年9月15日(金)	会場：リージョンプラザ上越
中越地区	十日町・中魚大会	平成29年10月4日(水)	会場：十日町中央公民館
下越地区	村上・岩船大会	平成29年10月5日(木)	会場：村上市教育情報センター

〔参考〕研究集会の開催地域について 平成24年9月1日県小本部会決定

	〔上越〕	〔中越〕	〔下越〕
平成28年度	妙高	小千谷・魚沼	五泉・阿賀野・東蒲
29年度	上越	十日町・中魚	村上・岩船
30年度	〔全県〕長岡		
31年度	柏崎・刈羽	三条	佐渡
32年度	糸魚川	南魚沼郡市	五泉・阿賀野・東蒲
33年度	〔全県〕上越		
34年度	妙高	燕・西蒲	新発田・胎内・聖籠
35年度	上越	加茂・南蒲・見附	佐渡
36年度	〔全県プレ〕新潟		
37年度	〔全県関プロ〕新潟		

※ 政令指定都市研究協議会新潟大会（平成34年度）

オ その他

関ブロ大会及び全連合小大会での発表等要請に対しては、従前の慣例に従い発表者を決定し、発表者が所属する郡市小学校長会・政令指定都市小学校長会が責任をもって支援し発表に臨む。

(2) 第69回関東甲信越地区校長研究協議会神奈川大会への参加

- ① 研究主題 「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
副主題 「夢や希望をもち、たくましく未来を切り拓く子どもを育む学校経営」
～子どもと向き合うための教育環境づくりを目指して～
- ② 期 日 平成29年6月15日(木)～16日(金)
- ③ 会 場 神奈川県民ホール 他
- ④ 参加者 新潟県から48名 各都市小学校長会・政令指定都市小学校長会へ割り当てる

(3) 第69全国連合小学校長会研究協議会佐賀大会への参加

- ① 研究主題 「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
副主題 「志を胸に 高きに和して 未来を創る 子どもを育てる 学校経営の推進」
- ② 期 日 平成29年10月12日(木)～10月13日(金)
- ③ 会 場 佐賀市文化会館 他
- ④ 参加者 新潟県から48名 各都市小学校長会・政令指定都市小学校長会へ割り当てる

(4) 委員会活動

教育課程委員会、生徒指導委員会、同和教育委員会の3委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。なお、教育課程委員会・生徒指導委員会については、政令指定都市小学校長会独自の調査研究活動も視野に入れる。

① 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程にかかわる諸問題について調査研究を行う。アンケート及び聞き取り調査等から「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実情を探り、各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

② 生徒指導委員会

生徒指導に関する実情について調査研究を行う。これまで、いじめや不登校、問題行動等の解消や未然防止を目指した「社会性の育成」をテーマとして、児童の実態や地域の実情に応じた創意ある取組について、広く調査研究を進めてきている。本年度もそれを継承する。「いじめ見逃しゼロ県民運動」の一環ととらえて、重点的に取り組んでいく。

③ 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席、各種研究集会への参加態勢の確立などを通して、同和教育推進の活動を行う。また、新潟県同和教育研究集会、部落解放新潟県研究集会、「いのち・愛・人権」展等、同和教育にかかわる各種大会に参加して研修を進める。

(5) 全県研修部会の開催

- 第1回 期 日 平成29年5月10日(水)
会 場 月岡温泉「泉慶」
内 容 平成29年度研修部活動計画の概要決定
- 第2回 期 日 平成29年11月9日(木)13:30～16:30
会 場 じょいあす新潟会館(カトレア)
内 容 研修部の活動のまとめ